



第3次北杜市総合計画

北杜新時代 幸せ実感 チャレンジ北杜

2021-2030

市民生活・文化 3-2 生涯を通じた学びの支援

2030年、地域のありたい姿  子どもの笑顔を自分の笑顔に  とともによりよく生よう

目指す姿

多様なニーズに対応した様々な学習の機会と場があり、市民が生涯にわたって学び、学んだ知識やつながりを活かして活躍しています。

現状と課題

- 人生100年時代*を迎える中、100年という長い期間をより充実したものにするためには、幼児教育から小・中・高等学校教育、大学教育、さらには社会人の学び直しに至るまで、生涯にわたる学習が重要です。
- 社会情勢の高度化・複雑化が進むなど、個人の価値観やニーズが多様化する現状を踏まえ、市民や市民団体が主体的に地域づくりに参画するための教育機会や場の提供が求められています。
- 民間が提供する生涯学習サービスと役割を分担しつつ、行政が担うべき生涯学習施策を提供することが必要です。
- 市民活動、社会教育活動を継続できるよう、施設環境の整備が求められています。

施策目標

No	指標	基準値 (R2)	目標値 (R7)
21	生涯学習講座開催事業参加者数	1,555人/年	2,965人/年
22	市立図書館の新規利用登録者数	646人/年	976人/年

3-2-2 読書活動の推進

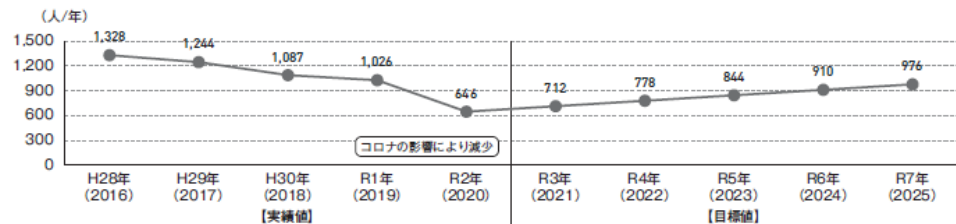
< 図書館の機能強化 >

- 持続可能な図書館運営の検討を進めるとともに、賑わいの創出や市民交流など新たな価値創出の拠点としての機能強化・充実に取り組みます。
- 図書館利用者の利便性向上に向けた取組を進めるとともに、図書館ボランティアの活性化を図ります。

< 子ども読書活動の推進 >

- 家庭、地域、学校において、子どもが読書に親しむ機会の提供と充実を図ります。

■ 市立図書館の新規利用登録者数



II 成果指標一覧

2 部門別計画

3) 市民生活・文化

3-2 生涯を通じた学びの支援							
22	統計	市立図書館の新規利用登録者数	市立図書館の市民の新規利用カード発行数	646人/年	976人/年	実績が下降トレンドであることに加え、コロナの影響を大きく受けたことから、コロナ前水準の8割の回復に向け、毎年、66人の増加を目指す。 (参考) H28-H30の平均1,220人/年 × 80% = 976人	事業実績

新・行政改革大綱

2021 ▶▶ 2025

北 杜 市

第4章 行政改革の基本方針

行革の柱1 公共施設保有量の最適化（総論）

目指す姿

- 公共施設保有量の最適化の取組が計画的に進み、施設の維持管理等に要していたコストの低減が図られ、必要な政策分野に行政経営資源が投入され、市民サービスの質が向上しています。

現状と課題

市保有施設数
362 施設

延床面積合計
40 万㎡
(県内2位/13市中)

市民1人あたりの
公共施設延床面積
9.09 ㎡/人
(県内1位/13市中)

10年後に築30年を経過
する施設割合
74.1%

（公共施設保有量）

- 市保有施設（建物）は、362施設で延床面積の合計は県内13市中、甲府市の次に多い約40万㎡となっています。
- そのうち学校教育施設が25.9%、市営住宅が21.4%、観光・農林・温泉施設などの産業系施設が17.1%となっており、3分類で全体の64.4%を占めています。
- 市民1人当たりの公共施設延床面積は9.09㎡（県内市平均4.40㎡/人）で、県内市の中で突出しています。
- 保有施設のうち築30年以上の割合は39.1%で、当該施設をそのまま保持した場合、10年後には74.1%に急速に老朽化が進みます。
- 北杜市公共施設等総合管理計画（平成29（2017）年3月策定）では、延床面積の30%縮減を目標としていますが、対象施設を「今後30年間で更新時期を迎える施設（学校や保育所など法律で設置が義務付けられている施設（以下、「義務的施設」という。）を除く）」と限定しており、施設総量全体では7.0%の縮減に留まる試算であることから、すべての公共施設を対象に、縮減すべき延床面積を具体的な数値で示す必要があります。
- 人口減少・高齢化の進展が避けられない本市の財政力を勘案すると、すべての公共施設を今後も維持し続けることは極めて困難です。

（資産活用）

- 市有財産の適正な管理及び有効的な運用を図るため、長期保有している土地・建物について、適切な資産活用が必要です。

4-1-1-1 市立図書館

現状と課題

- 市内には8つの市立図書館があり、施設数で見ると県内市町村で最も多く、県内12市の平均施設数2.5を大きく上回っています。
- 貸出利用者数、貸出冊数ともに年々減少傾向にあります。
- 8つの図書館は、施設規模、蔵書数、職員体制などがそれぞれ異なり、サービスの的に均衡が取れているとは言い難い状況です。
- 令和2（2020）年度決算の図書館運営・維持管理に係る経費は1億2,000万円で、そのうち人件費が7,700万円と64.2%を占めています。
- 市立図書館を将来にわたって持続可能なものとするためには、これまでの維持管理等への投資から、図書館の機能強化とサービスの質の向上に向けた投資へとシフトしていく必要があります。

関連データ

《県内市》市立図書館数

北杜	甲府	富士吉田	都留	山梨	大月	韮崎	南アガス	甲斐	笛吹	上野原	甲州	中央	12市平均
8	1	1	1	1	1	1	6	3	6	2	4	3	2.5

※「市町村のすがた」（山梨県、令和3年4月1日）

基本方針

- 中核的な図書館3施設程度に集約・再編し、機能の充実・強化を図ります。
- 集約・再編にあたっては、教育的な支援の拡充など図書館サービスの質的な強化充実を図るとともに、賑わいの創出、市民交流、コワーキングなど新たな価値創出の拠点としての機能の充実・強化も図ります。